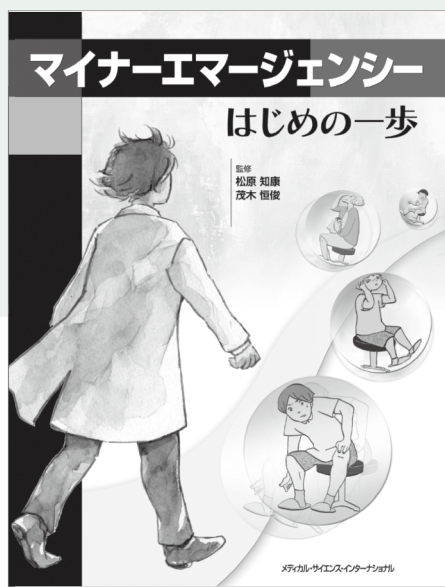


マイナーエマージェンシー
もこわくない。
「心の友」ならぬ、
「当直の友」として最適！

評者

林 寛之

福井大学医学部附属病院 救急総合診療部



マイナーエマージェンシー
はじめの一步

監修 松原 知康
茂木 恒俊

定価：5,500円（＋税10%）
A4変型，200頁，図154，写真198
2023年，ISBN 978-4-8157-3086-4
メディカル・サイエンス・インターナショナル
（MEDSi）

マイナーエマージェンシーの患者さんは、夜間救急には案外たくさん受診してくる。各臓器専門医からしてみれば、「こんなことくらいで、時間外に呼ばれたくない」と思うような、どうってことない疾患が多いものの、非専門医にしてみれば、どうすればいいかわからず、どうももどかしいことが多い。

本書は、Triage & Action (T&A) マイナーエマージェンシーコースで初学者を対象に、手取り足取り実践的に使えるワザを伝授してきた虎の巻の最終形態・進化系といえる。ゴジラだって進化したんだから、T&Aだって進化し続けたのだ。まさしく本書を横においておけば、各臓器専門医の夜の安寧を守ることができ、当直医は感謝され、働き方改革にも優しい仕上がりになっている。

眼科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、外科に関して、外来で比較的頻度の高いマイナーエマージェンシーに絞って、写真や図をふんだんに使い視覚的にわかりやすくまとめられている。読者の立場に立った編集は秀逸で、主訴に合わせてまとめられているため、検索しやすく、読者の時間外診療を即座に助けることになるだろう。各項目を専門書のようにただ単に深く極めても、必ずしも現場のニーズに合うわけではない。ここは本当に必要な知識に絞って、どのタイミングで各臓器専門医に紹介するのがきちんと記載してあるのがいい。夜中の勤務は寂しいもので、「心の友」がほしいところだが、働き方改革の昨今、友達とはそばにはいてくれない。

そこで本書は「当直の友」としてぜひ横においてほしい。

さらに適宜、項目の最初に漫画が配置されているのが若者世代には嬉しい。あ、私は若者ではないが、半世紀『少年ジャンプ』にささげた人生だから、漫画のもつパワーは誰よりも心得ているつもりだ、エヘン。当直で時間が空いたら、漫画だけでもまず読んでみるといい。自分で太刀打ちできない項目は、不安になってつい中身を読みたくなってしまいうから…ふっふっふ。

「百聞は一見にしかず」というが、「百見は1動画にしかず」。YouTubeが闊歩する現代では動画が断然ものをいう。本書にはところどころに動画のQRコードが付いているため、紙面では伝えきれない弱点を見事に克服している。動画はVimeoで視聴できるが、このパスワードは本書を購入した人だけが知ることができるから、ぜひ購入して見てほしい。

Part IIのQ&Aでは、一步踏み込んだTipsが広がっている。ちょっと知っていると嬉しい内容だ。Part Iの総論を習得した暁には、Part IIの内容も暗記するにすれば、あなたもマイナーエマージェンシーマスターだ。え？ マスター（修士）ならもうもってるって？ そりゃそうだ、医学部卒業したんだもんね。でもそのマスターだけでは、実臨床ではまだまだ歯が立たないのは知っているはず。本書を読んで、さらに完璧なマスターになろう！